

科目名	担当教員	学期	単位
公共の哲学	齋藤 純一	後期	2

#### 講義概要

「公共性」の意味は、今日さまざまな視座から考察されているが、この講義では、主に政治理論の立場から「公共性」にアプローチする。講義は、公共性論の主要なトピックス、意見、輿論、討議、操作、公開性、デモクラシー、再分配、社会統合、メディアなどを取り上げ、それぞれについて考察していく。講義のより具体的な計画については、初回の講義において説明する。

#### シラバス

- [第1回] 公共性とは何か?
- [第2回] 公共性の構造転換(1)
- [第3回] 公共性の構造転換(2)
- [第4回] 公共性と輿論/世論
- [第5回] 公共性と意見の交換
- [第6回] 公共性とデモクラシー(1)
- [第7回] 公共性とデモクラシー(2)
- [第8回] 公共性と社会統合(1)
- [第9回] 公共性と社会統合(2)
- [第10回] 公共性と再分配(1)
- [第11回] 公共性と再分配(2)
- [第12回] 公共性とメディア(1)
- [第13回] 公共性とメディア(2)
- [第14回] 公共哲学の課題(1)
- [第15回] 公共哲学の課題(2)

#### 教科書

齋藤純一『公共性』（岩波書店、2000年）。  
齋藤純一『政治と複数性——民主的な公共性にむけて』（岩波書店、2008年）。

#### 参考文献

全般的な参考文献は以下の通り。個別的な参考文献については講義の中で紹介する。  
ハンナ・アレント、志水速雄訳『人間の条件』（ちくま学芸文庫、1994年）。  
ユルゲン・ハーバーマス、細谷貞雄・山田正行訳『公共性の構造転換』第2版（未来社、1994年）。  
佐藤卓己『輿論と世論——日本的民意の系譜学』（新潮社、2008年）。

#### 評価方法

講義への出席、課題の分担報告、議論への貢献、レポートを総合して評価する。

#### 関連URL

<http://www.f.waseda.jp/ssato/>

#### 備考